

# 平成17年度「エコパートナーくまもと」総会 議事録

日 時：平成17年5月28日(土) 17:00～19:30

場 所：熊本市役所駐輪場8階会議室

参加者：61名(会員35人、市役所関係各課17人、事務局9人)

議事経過：(司会)原育美氏

(議長)三嶋会長

## 1 議案審議

### 第1号議案 平成16年度事業報告及び決算について

宮北氏 : (事業全般について報告)

事務局 : (決算について報告)

大住氏 : 平成17年5月23日に行った監査によって、収入支出が適正に施行されていることを確認したことを報告する。

会員 : (質疑なし)

会員 : (拍手により承認)

### 第2号議案 平成17年度事業計画(案)及び予算(案)について

中村氏 : (全体説明)

事務局 : («第2次熊本市環境総合計画»の中間見直しについて説明)

各WGリーダー : (WG平成16年度事業実績・平成17年度事業計画について説明)

会員 : (平成16年度WG事業に関する以下の事項について、8名の会員から発言があった。

- ・ 「よみがえれ!バス」円卓会議の手法等について
- ・ WG活動の地域との連携について
- ・ WG事業の市施策への反映について
- ・ 費用対効果を考慮したWG事業評価について )

議長 : 本議案についてご承認いただけるということによろしいか。

会員 : (拍手により承認)

### 第3号議案 役員交代について

山口氏 : (原田副会長と緒方監事の任期途中での辞任に伴う役員交代案を説明)

会員 : (役員改選や会則改正のような重要なことは、企画運営委員会・役員会だけで了解を得ればよいというようなものではなく、会員全体の合意形成の上に行うべきである。そのような合意形成が成されていない本議案には賛成できないという意見が複数出された。)

議長 : この役員交代(案)について採決する前に、役員改選のあり方を再度検討するかどうかについて、挙手で決を採りたい。

議長 : 役員改選のあり方を再度検討することに賛成の方は挙手を。

会員 : (挙手18人) 総会参加会員総数は34人(市役所職員は除く)

議長 : 差し戻しではなく、現在提案されている本議案についてこの場で決めることに賛成の方は挙手を。

会員 : (挙手16人)

議長 : それでは、この第3号議案は取り下げさせていただく。

- 事務局 : (本議案は、あくまで任期中の退任に伴う補充の人选を諮ったものであり、当然のことながら他の役員はそのまま在任。)
- 会員 : (来年の役員改選までに選出の過程を根本から見直すべきという意見、リーダー会議が主なその審議機関であるべきという意見等が出された。)
- 議長 : このことについて、この場で全て議論して詰めることは不可能であり、来年度の改選までにはまだ時間があるので、それまでに十分議論するという事によろしいか。
- 会員 : (拍手で承認)

#### 第4号議案 会則の改正について

- 荒木氏 : (説明)
- 会員 : (質疑なし)
- 議長 : 拍手を以って承認いただいてよろしいか
- 会員 : (拍手により承認)

## 2 報告事項

### 平成17年度予算の執行について

- 議長 : (平成17年度の事業で総会前に実施された二つの事業について、会則第9条の規定に基づいて会長専決事項として予算が執行されたことを報告)
- 会員 : (質疑なし)

### エコパートナーくまもとの今後の取組み方針について

- 宮北氏 : (今後の取組み方針の概略を説明  
今後1年間でエコパ全体の見直しをリーダー会議、企画運営委員会で行っていく。  
各WGレベルで評価シートを基に実績・課題を共有し、パートナーを明確にする作業を行い、これをリーダー会議で共有する。  
エコパとして他の団体等とのパートナーシップのあり方を見直す。)
- 会員 : (質疑なし)

### 企画運営委員会委員長の交代について

- 宮北氏 : (説明)
- 会員 : もう一人選任予定の副委員長は、各WGで協議し、WGから推薦を求める形をとって欲しい。
- 山口氏 : 副委員長の選任については、役員交代同様、全体での合意形成のために論議した上で決定したい。
- 議長 : この報告事項 について了承ということによろしいか。
- 会員 : (拍手で了承)

### 節水社会実験について

- 水保全課 : (熊本市の地下水が危機的状況にあることから、市民一人ひとりの節水が必要不可欠になってきている。そこで、市民協働で節水市民運動を推進し、市民の手で命の水を子どもたちに守り伝えていくための市民組織「わくわく節水倶楽部」を立ち上げた。また、熊本市では、

7月1日からの1ヵ月間「節水社会実験」を実施する。については、この「わくわく節水倶楽部」にご入会いただくとともに、「節水社会実験」にも是非ご参加いただきたい。）

会員 : (質疑なし)

ゴミ有料化に向けての取組について

廃棄物計画課 : ( 昨年3月に策定された「ごみ減量リサイクル推進基本計画」の4つの基本方針のうち、「ごみ減量・リサイクル推進の意識啓発」、「ゴミの発生抑制」、「資源物のリサイクル推進」に最も効果的と考えられる施策として「ゴミ有料化」がある。これを進めていくためには、市民の意見を伺い、具体的な方策を詰めていかなければならない。そこで、現在、各地で説明会を開催し、アンケートへのご協力をお願いしているところである。そして、来年3月に議会への議案提出を予定している。

情報を共有することにより、市民の方々のごみ減量やリサイクル推進の自主的な取組みが始まり・持続することを目的にスタートした「ごみゼロ・サポーター制度」について説明。)

会員 : (質疑なし)

議長 : (閉会宣言)

司会 : (総会に参加している熊本市の関係部署の紹介)

(総会終了)